

個別施設整理番号		林道台帳索引番号	10702003	施設管理者	栗山町
路線名	本継線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	太田橋
施設の所在地	栗山町字継立	起点からの距離		建設年度	1980
供用年数	38	種別	コンクリート橋	型式	PC桁
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

林道管理区分	森林管理道(開放)	理由				
利用区域内施業計画	計画年度		施業種別		面積	
	計画年度		施業種別		面積	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.4m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	単純PC桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	・年1回程度の利用区域内施業に利用している。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	平成30年11月30日				
	調査結果	・上部構造、床版間詰めコンクリートの遊離石灰C→Ⅱ。 ・伸縮装置から下部工へ漏水d→Ⅲ、舗装や橋座面に土砂堆積d→Ⅲ。 ・防護柵端部の変形b→Ⅰ、地覆の欠損b→Ⅰ。				
	健全性の診断結果	Ⅱ	舗装の土砂堆積は、橋面排水の不良を助長し、間詰めコンクリート部への漏水・遊離石灰、伸縮装置への漏水要因となり、維持工事等で対応する必要がある。			
	劣化原因	・経年劣化、林道使用による土砂堆積で橋面排水機能低下に伴い、床版間詰めコンクリートの遊離石灰、伸縮装置からの漏水。 ・外的要因、車両衝突と思われる外力により、防護柵端部の変形。				
長寿命化計画の内容	計画期間	平成31年度～令和10年度				
	内容	土砂堆積撤去を維持工事対応。				
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましい				
	施設の優先度	中～下	(優先度の考え方) 管理区分④:開放(区間)林道、森林施業(運搬作業)が年1回程度以上、橋長15m未満 健全性の診断結果:Ⅱより、橋梁改良の優先順位は、18段階中14位。			
	対策費用(概算)	R5・R10:橋梁定期点検 約650千円				
管理方法	管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、排水施設の清掃維持作業を適切に行う。				

	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)					0.65					0.65
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考
平成30年度定期点検実施済み 一般管理型